

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成23年5月19日(2011.5.19)

【公表番号】特表2010-523083(P2010-523083A)

【公表日】平成22年7月15日(2010.7.15)

【年通号数】公開・登録公報2010-028

【出願番号】特願2010-501025(P2010-501025)

【国際特許分類】

C 1 2 N	5/10	(2006.01)
A 6 1 K	35/14	(2006.01)
A 6 1 P	37/02	(2006.01)
A 6 1 P	37/06	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	31/00	(2006.01)
A 6 1 P	31/12	(2006.01)
A 6 1 P	31/04	(2006.01)
A 6 1 P	31/10	(2006.01)
A 6 1 P	33/00	(2006.01)
A 6 1 P	33/02	(2006.01)
A 6 1 P	31/20	(2006.01)
A 6 1 P	31/18	(2006.01)
A 6 1 P	31/16	(2006.01)

【F I】

C 1 2 N	5/00	1 0 2
A 6 1 K	35/14	Z
A 6 1 P	37/02	
A 6 1 P	37/06	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	31/00	
A 6 1 P	31/12	
A 6 1 P	31/04	
A 6 1 P	31/10	
A 6 1 P	33/00	
A 6 1 P	33/02	
A 6 1 P	31/20	
A 6 1 P	31/18	
A 6 1 P	31/16	

【手続補正書】

【提出日】平成23年3月30日(2011.3.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

抗原と結合する受容体、及び外因性の副刺激リガンドとを含有してなる、免疫応答性細胞。

【請求項 2】

副刺激リガンドが、構成的又は誘導的に発現される、請求項1に記載の免疫応答性細胞。

【請求項 3】

少なくとも2つの副刺激リガンドが、構成的に発現される、請求項2に記載の免疫応答性細胞。

【請求項 4】

副刺激リガンドが、T細胞の表面に構成的に発現される、請求項2又は3に記載の免疫応答性細胞。

【請求項 5】

副刺激リガンドが、レトロウイルスベクターで発現される、請求項1～4のいずれか一項に記載の免疫応答性細胞。

【請求項 6】

副刺激リガンドが、腫瘍壊死因子(TNF)リガンド又は免疫グロブリン(Ig)スーパーファミリーリガンドである、請求項1～5のいずれか一項に記載の免疫応答性細胞。

【請求項 7】

TNFリガンドが、4-1BBL、OX40L、CD70、LIGHT、及びCD30Lからなる群より選択される、請求項6に記載の免疫応答性細胞。

【請求項 8】

Igスーパーファミリーリガンドが、CD80及びCD86からなる群より選択される、請求項6に記載の免疫応答性細胞。

【請求項 9】

副刺激リガンドが、TNFリガンド及びIgスーパーファミリーリガンドである、請求項1～5のいずれか一項に記載の免疫応答性細胞。

【請求項 10】

TNFリガンドが4-1BBLであり、IgスーパーファミリーリガンドがCD80である、請求項9に記載の免疫応答性細胞。

【請求項 11】

抗原が、腫瘍抗原又は病原体抗原である、請求項1～10のいずれか一項に記載の免疫応答性細胞。

【請求項 12】

抗原が、前立腺特異的膜抗原(PSMA)、癌胎児抗原(CEA)、IL13R、her-2、CD19、NY-ESO-1、HIV-1Gag、Lewis Y、Mart-1、gp100、チロシナーゼ、WT-1、hTERT、及びメソセリンからなる群より選択される、請求項1～10のいずれか一項に記載の免疫応答性細胞。

【請求項 13】

抗原と結合する受容体が、T細胞の表面に構成的に発現される、請求項1～12のいずれか一項に記載の免疫応答性細胞。

【請求項 14】

抗原と結合する受容体が、Pz1もしくはP28zである組換え抗原受容体又は内因性抗原受容体である、請求項1～13のいずれか一項に記載の免疫応答性細胞。

【請求項 15】

免疫応答性細胞が、T細胞、ナチュラルキラー(NK)細胞、細胞傷害性Tリンパ球(CTL)及び調節性T細胞からなる群より選択される、請求項1～14のいずれか一項に記載の免疫応答性細胞。

【請求項 16】

CD80、4-1BBL、OX40L、CD70及びCD30Lからなる群より選択されるポリペプチドをコードするベクターを発現するウイルス特異的T細胞。

【請求項 17】

ウイルス特異的T細胞が、サイトメガロウイルス(CMV)、エブスタイン・バールウ

イルス（E B V）、ヒト免疫不全ウイルス（H I V）及びインフルエンザウイルスの抗原からなる群より選択されるウイルスを認識する、請求項16に記載のウイルス特異的T細胞。

【請求項18】

C D 8 0、4 - 1 B B L、O X 4 0 L、C D 7 0 及び C D 3 0 L からなる群より選択されるポリペプチドをコードするベクターを発現する、腫瘍抗原特異的T細胞。

【請求項19】

腫瘍抗原特異的T細胞が、C D 8 0 及び 4 - 1 B B L を発現する、請求項18に記載の腫瘍抗原特異的T細胞。

【請求項20】

ベクターが、レトロウイルスベクターである、請求項18又は19に記載の腫瘍抗原特異的T細胞。

【請求項21】

請求項1～20のいずれか一項に記載の細胞を含有してなる、腫瘍、病原体感染、自己免疫障害又は同種移植に関連する症状を治療するためのキット。